

市町村名	学校名等	活動の区分
大和高田市	大和高田市立浮孔小学校	学校支援
(住所) 大和高田市中三倉堂2丁目5-43 (電話) 0745-22-0451		
<p>(活動の概要)</p> <p>本校では、コーディネーターを中心として、地域ボランティアがさまざまな活動をしている。校内の環境整備や登下校の見守り活動、学習活動支援が中心であるが、規範意識の醸成をめざして行っている挨拶運動の支援や放課後の学習支援などにも多くのボランティアの協力を得ている。また、PTAのボランティア部を中心にボランティアを募集し、栽培活動や図書室の整理などにも積極的に取り組んでいる。</p> <p>本年度は PTA 単独で2泊3日の通学合宿を開催。大和高田市と提携している畿央大学の教育学部学生にも声をかけ、登下校の付き添いや食事の支度・学習・イベントを手伝っていただいた。児童にも学生の皆さんにも貴重な体験となったと思われる。また、学年園で栽培している作物を、ボランティアと一緒に手入れをする放課後農業体験活動も引き続き実施した。体力・運動能力向上への取組については、昨年に引き続き大なわとびも活用した。さらに、地域の祭りなどの行事への参加も積極的に呼びかけた。</p> <p>昨年度の「あいさつおさんぽたい」の缶バッジを常に身につけ、近隣の住民や保護者にも呼びかけて、子どもたちが安心して近所の方と挨拶ができることを目的に取り組んでいる。</p> <p>支援ボランティアとして協力いただける方が子どもたちと広くかかわり、学校の教育活動を理解してもらえるよう、コーディネーターを中心にこの事業を展開している。</p>		

《学校支援》

- 1 【実施主体】 うきあなコミュニティ
- 2 【活動支援スタッフ体制】  
 コーディネーター 1人  
 ボランティア登録数 70人
- 3 【主な活動内容】

放課後などの学習支援



地域ボランティアに学年で栽培している作物の世話の仕方を放課後指導してもらったり、通学合宿で大学生ボランティアに学習をみてもらったりする機会を設定した。定期的実施することにはまだまだ課題はあるが、それぞれの活動の中で子どもたちは地域の方や畿央大の学生達とふれあいながら楽しくイキイキと活動することができた。

体力づくり支援



「うきあなギネスに挑戦」を全校児童に呼びかけて、年間を通じて体力作りに取り組んだ。学校独自で考えた競技や大なわを使って、休み時間や集会活動を活用して取組を進めている。運動に関わっては、ボランティアの支援を得ることがなかなか困難な状況にあるが、コーディネーターの力をかりて取組を進めている。

(環境整備支援活動) 実施時期 4月～3月



観察池の管理	年間を通じてほぼ毎日実施	
植木の剪定	5月～9月	5日間実施
	12月	3日間実施
校庭清掃	5月～6月	3日間実施
	10月～11月	6日間実施
生け花	年間を通じて	20日間実施
花苗植え	5月・11月	3日間実施
図書の整理		



観察池の水質管理や水生植物の世話、魚の飼育をほぼ毎日のように支援していただいている。子どもたちが毎朝登校すると、一緒に魚にえさをあげたり、魚の話をしたりして楽しく過ごす姿が見られる。

植木の剪定や校庭の掃除、花苗植えなどの環境整備も、ボランティアの協力を得ており、子どもたちが安心して学校生活を送れるよう配慮をしてくださっている。



校庭の樹木の消毒も、いろいろな秘訣や工夫等を手伝っている教職員にも分かりやすく指導しながら、一本一本丁寧に消毒をしていただいている。さらに、生け花ボランティアの方は、子どもたちが花を見て優しい心をもつようにとの思いから、1ヶ月に2回来校し、玄関・保健室・廊下等に花を生けてくださっている。これら以外にも落ち葉集めや運動場のフェンス添いの草引きなどの清掃活動にも協力いただき、年間を通じて多くの方に学校内の環境整備に関わっていただいている。



### 登下校の見守り活動



毎朝、児童の登校に合わせて、校門前・踏切付近・交差点等で立哨していただいている。最近では、大きな声で元気よく挨拶をする子どもも若干増えてきている。

花の寄せ植えや図書室の整理・環境整備等にもご尽力をいただいている。

### 学習支援活動&学校行事への支援等

家庭科ミシン学習、校区探検引率支援、生活科支援、見学引率支援、平和学習、工作支援、和楽器体験支援、英語活動支援、防災教育支援、読み聞かせなど



生活科や総合的な学習の時間を中心に、各学年の年間計画に合わせて担任とコーディネーターが打合せをし、ボランティアを招聘している。従来より継続しているボランティアだけでなく、今年度新たにきていただいたボランティアもあり、地域の方の力を教育活動に積極的に取り入れている。

特に、英語活動のボランティアは、数年来子どもたちと関わっていただいている。家庭科のボランティアは、実習する上で大きな力となっている。2年生・3年生では、校外学習の引率時に協力を得ている。戦争体験の話を聞いたり昔の生活や遊びを教えてもらったりすることも、地域のボランティアの協力を得ている。最近では、コーディネーターの仕事も明確になり、さまざまな学習にボランティアの力が生かせるよう事前に打ち合わせをして活動を進めている。そのことにより、教員とボランティアとの関係が深まり、教育活動や子どもの実態を知ってもらえるよい機会になっている。